

## ご挨拶

皆様には、遺伝子の先天性潜在能力測定について、多くの感心や信頼を頂き、誠に有難うございます。

2007年に、私の率いる研究チームが、先天的な遺伝子タイプを測定できるように世界に先駆け初めて開発致しました。遺伝子タイプの測定を通して、子供の先天的な特徴を予測することが可能になりました。これらは世界でも例を見ない初めての試みであった為、我々は十分に慎重な取り組みを致しました。我々は今回の研究課題に対し信念を持って取り組んで参りました。一人の人間の能力や知力を決定する上で、遺伝と環境は必要不可欠であり、遺伝は前提条件であり、環境は現実的な条件に確定される。

中国では、既に2008年より、これらの遺伝子測定を提供して参りました。また、中国の50件以上の雑誌やインターネットのサイト上で取り上げられ、テレビ番組でも、幾多の報道がなされて参りました。2009年になると、この研究項目はアメリカのCNN TV局や、フランスの4大ネットワークTV放送でも報道されて参りました。そして2010年6月には、日本のフジテレビにおいても、この「児童に対する、潜在能力の遺伝子検査測定」が報道されました。また、日本における、数千ものウェブサイト上のブロガーが意見を投稿し、おおいに物議を醸し出しました。このように多くの分野において、沢山の方々の関心を受け、議論がなされて参りました。しかし、我々の研究チームは、次のように確信しております。遺伝子に対する、先天的潜在能力を測定することは、科学的な見地からも将来多大なるメリットを生ずるものと考えております。今後はより一層研究が活発に行われ、更なる発展を遂げることでしょう。更に完璧なものに進むと考えております。

心理学者が、唱える人間の持つ七大能力とは、下記に示す種類があります。

言語知力、 論理知力、 音楽知力、 空間知力、 交流知力、 運動知力、 自省知力などがある。

人によって、それぞれの能力に得手不得手が存在するのは、これらが先天的な遺伝子と後天的な生活環境の違いによって、実際の能力に対して差異が生じているからである。

子供の遺伝子タイプを分類することは、児童教育を能率的に向上させるのに、重要な意義を持っている。より優秀な児童を育てるには、先天的遺伝に適した育成カリキュラムを行う事が、一番有効な手段であります。標準的な教育カリキュラムがすべての子供に適合しているとは一律には言えない。標準教育カリキュラムでは、それは遺伝子レベルにおいて、子供の先天的に優れた点を重要視していない為に、潜在能力を十分に引き出せないこ

とが多いからである。一方、先天的に劣っている場合は、不得意な分野の学習に出会った時に、自信をなくしてしまう事もある。

子供は本来、先天的に得意な分野と不得意な分野を併せ持っている。得意な分野での学習は効率良くできるので、スピードも速く、習得できる範囲も大きくなります。従ってそのような児童に対しては、高い目標を掲げ、学習スピードも迅速に行い、難しい課題にもどンドンと挑戦すべきだと考えます。その事が子供達にとって優秀分野を、より一層成長させるのに重点となる。一方、不得意な分野の学習については、効率も悪く、学習スピードもゆっくりで、習得できる範囲も狭くなります。子供の不得意な分野は重点的に学習させない、それには、まず基礎的な勉強をさせて、学習レベルは中級レベルに設定し、ゆっくりと教えてゆく事が大切である。要するに、子供の遺伝子レベルでの、先天的潜在能力に適した教育が子供の成長に有効と言えます。

ある人に言わせれば、遺伝子測定は、「遺伝子占い」だと言う人が居ます。我々は、占いを信じませんが、科学は信じなければいけません。遺伝子測定はできますが、占いはできません。先天的な遺伝子能力の傾向を予測する事は、子供の育成を向上させる手段として価値があります。

我々は、遺伝子測定に対する、如何なる報道や歪曲した宣伝については、断固反対致します。同時に、間違った報道によって悪いイメージを持たないでください。遺伝子科学の価値に疑問を持つ必要は一切御座いません。私たちは、汚れた水は捨てても、可愛い赤ん坊を決して見捨てないで下さい。

黄新華 2010年7月14日

被検査者の基本情報

番号：	名前：	性別：	年齢：
後見人：	後見人電話番号：		
送り主：	送り主電話番号：		
申請年月日：			
見本受け取り年月日：			
申請項目：			

1、IQ 遺伝子の素質

2、EQ 潜在能力の素質

3、音楽の潜在能力の素質

4、絵画の潜在能力の素質

5、ダンスの潜在能力の素質

6、運動の潜在能力の素質

7、注目すべき潜在能力の素質

### 潜在能力の素質に相関する遺伝子表

	IQ(知能指数)素質	EQ 潜在能力の素質	音楽の素質	絵画の素質	ダンスの素質	運動の素質	注目すべき素質
BDNF	*		*				
5-HT2A	*		*	*			*
DAT1	*		*	*			*
GRIN2B	*		*	*			*
CHRM2	*						
COMT	*						
SNAP25	*						
DRD4		*	*	*	*		
5HTT		*	*	*	*		
MAOA		*					
GJB2			*				
MT-COI			*				
SLC6A4			*		*		
CBP&CBD				*			
ACE					*	*	
CNTF					*	*	
mtDNA					*	*	
ACTN3						*	

## 潜在能力の素質に相関する遺伝子説明

BDNF：脳由来神経栄養因子という。主に神経栄養に作用する、神経細胞の成長発育を促進する。

5-HT2A：神経伝達受容体の配列である。主に大脳前頭葉に分布している、注意力の持続性や記憶力に密接に関係している。変化の識別力にとって不可欠である。

DAT1：ある特定の神経伝達物質回転体配列。この遺伝子は集中力に関連する。

GRIN2B：ある特定の神経伝達物質通路配列。刺激に対する素早い反応力と関連する。

CHRM2：ある特定の神経伝達受容体配列。注意力、学習力、記憶力と認知力に関わる。ムスカリンによって活性化されて、アトロピンによって抑えられる。中部神経システム中の重要なコリン能物質の生物活性化機能に影響する。この遺伝子は大脳の思考回路を強化し、創造力、コミュニケーション力、問題の分析力、帰納力、演繹力、表現力、学習力、吸収力と顕しく関連する。

SNAP25：シナプス小体と関連するタンパク質配列。主にニューロンのシナプス末梢神経原形質膜上に分布している。脳細胞の興奮水準を維持すると同時に、抑制遺伝子に対抗し、脳細胞の興奮レベルを促進しようとする。この遺伝子は大脳ニューロンの興奮レベルと大脳の活発な思考力と密接な関連がある。

COMT：ある特定の神経伝達物質転化酵素配列。大脳の神経細胞のシナプスの間に幅広く存在している。この遺伝子の機能は脳の情報処理速度と顕著に関連しており、思考スピードに影響する。

SNAP25 : シナプス小体と関連するタンパク質配列。主にニューロンのシナプス末梢神経原形質膜上に分布している。脳細胞の興奮水準を維持すると同時に、抑制遺伝子に対抗し、脳細胞の興奮レベルを促進しようとする。この遺伝子は脳ニューロンの興奮レベルと脳の活発な思考力と密接な関連がある。

MAOA : 神経伝達物質の酸化酵素の配列の一種である。神経伝達物質の分解、代謝と電子伝達に関係している。モノアミン酸化酵素はノルアドレナリンとセロトニンの伝達に関係する。人間の情緒に大きな影響を与える。同時に、の5-HTの濃度レベルを調整する。この遺伝子は認識する事、また大胆さや感情行為に関係する、新しい物事についての探求性や方向性を見極める能力、動機、適応性と調節性に関係する。

DRD4 : ドーパミンやセロトニンなどの伝達通路系統の中で重要な受容体たんぱく質の一種である。主に、認知と感情行為に関係のある脳の側頭葉に分布している。この遺伝子は大胆さや感情行為活動と密接な関係を持っている。また、この遺伝子は新しいもの好き傾向にも密接な関係がある。

5-HTT : セロトニントランスポーター(5-HTT)は、セロトニン前神経終末に存在し、再取りこみ機構によってシナプス間隙のセロトニン濃度を調節している。抑制系神経伝達物質の一種の配列である。神経伝達物質の抑制に関係する、末端神経内の神経伝達物質のレベルの調整に役立つ。この遺伝子は気質や、個性や、羞恥という、感情に密接な関係がある。

GJB2 : *GJB2*(コネキシン 26)遺伝子である。ギャップ結合蛋白質の配列である。細胞間でのマイナスイオンと小さい分子との伝達通路を生成する役目がある。全ての内耳の細胞中に、この結合タンパク質が含まれている。このギャップ結合蛋白質は内リンパ中に存在するカリウムイオンの濃度を維持する。これは聴覚システムの正常な機能を維持する為には重要な物質である。

MT-CO1 : 細胞色素 C 酸化酵素亜単位 (I) の配列である。この遺伝子の最後にある一つの塩基が突然変異することによって、その隣にある遺伝子 tRNA の前駆体の変換速度を低下させてしまう、最終的には一つの呼吸鎖複合体蛋白質の合成を低下させる事になる。その為に細胞エネルギーが減少してしまい、蝸牛器官の機能を低下さ

せ聴力に損傷を受ける。

SLC6A4 : (セロトニンを再取り込みする膜タンパク質) セロトニントランスポーター, セロトニン輸送体とも言う。

この膜蛋白質は整合蛋白質である。この膜蛋白質は、神経細胞の樹上突起の隙間から 5-HT を神経根元までトランスポートする作用がある。そして、5-HT の機能の活動を停止させる。この遺伝子は人間の情緒や感情等に重要な作用がある。

CBP&CBD : 赤色を感じる光センサー蛋白質と緑色を感じる光センサー蛋白質の配列である。この二つの遺伝子の配列はとても類似している。生成した蛋白質は眼球の網膜にある。この蛋白質は人類が外部の色を認識するに欠かせない基礎的な物質である、

ACE : 血管が血液を提供するにあたって、調整する機能を果たす蛋白質の配列である。この蛋白質は心臓血管系統の広域に存在する。心臓の筋肉の収縮機能を増加できる。運動する筋肉部位にエネルギーを供給する。この蛋白質は身体能力の機敏さの訓練に関係する。

CNTF : 筋肉神経栄養因子の一種の配列である。この因子は筋肉細胞に栄養を与え、筋肉力量の素質と筋肉最大力量や等長力量に対して、訓練をする上で重要である。

mtDNA : ミトコンドリア DNA とは、細胞小器官であるミトコンドリア内にある DNA のこと。ミトコンドリアが細胞内共生由来であるとする立場から、ミトコンドリアゲノムと呼ぶ場合もある。  
細胞エネルギーの代謝機能のたんぱく質の配列である。高水準な運動能力を維持するにあたって、細胞エネルギー、ATP の再生能力は重要な制限要素の一つであって、線粒体エネルギーの合成や機能に影響を与える。よって、筋肉のエネルギー代謝に影響を与える。筋肉の忍耐力に対してもとても重要作用がある。

ACTN3 : アルファアクチニン 3、また、筋骨格知られる  $\alpha$ -アクチニンタンパク質アイソフォーム 3 または F -アクチン架橋は、蛋白質、人間の ACTN3 ですエンコードされた遺伝子である。  $\alpha$ -アクチニンはアクチンの異なる種類の細胞に複数の役割を持つ結合タンパク質。この遺伝子の発現は、骨格筋に限定される。筋動たんぱく質の一種の配列である。筋肉が収縮時に必要なたんぱく質である。筋肉の収縮に役立つ。表現豊かで、筋肉力量の増長に作用する。

## 遺伝子分析方法と器具

分析方法：DNA 測順法、遺伝子の一部分を電気泳動分析法；

器具設備：生物チップを採用します、上海国家工程研究センターの【PCR】遺伝分析器を使用します。



潜在能力遺伝子分析結果表

	遺伝子型						
BDNF		AG					
5-HT2A			CC				
DAT1							
GRIN2B							
CHRM2							
COMT							
SNAP25							
DRD4							
5HTT							
MAOA							
GJB2							
MT-CO1							
SLC6A4							
CBP&CBD							
ACE							
CNTF							
mtDNA							
ACTN3							

# 先天的潜在能力の遺伝子分類に対する解析レポート

知能指数 (IQ) に関する先天的潜在能力についての遺伝子要素解析

## 一、 記憶力

### 1、 記憶力に関する潜在能力の遺伝子解析

遺伝子	被験者の 遺伝子タイプ	記憶潜在能力の成長に関する 遺伝子条件
BDNF	AG	良
5HT2A	CC	弱

### 2、 説明：

BDNF：被験者の遺伝子タイプは AG タイプである、生物活性化レベルは弱い。  
この遺伝子配列の栄養因子は、脳神経細胞の成長や発育に作用する水準が 一般水準 であり、児童の脳神経ネットワークの成長への促進作用は良である。

5-HT2A：被験者の遺伝子タイプは CC タイプである。生物活性化レベルは低い。  
この遺伝子配列の神経受容体は記憶力や注意力に対して不利である。  
変化に対して比較的に敏感な為に、注意力と記憶効果に影響してしまう。  
学習時に周りの干渉に影響を受ける為、学習時は、できる限り干渉を避けるべきである。

### 3、 記憶潜在能力の評価：

レベル：中級レベル

特徴：記憶力の潜在力は中級レベルであり、特徴は作業記憶（ワーキングメモリ）  
ー）短期記憶が中級レベルである。

### 4、 一般的な育成アドバイス：

機械記憶能力は中級レベルである、沢山の記憶方法を学ぶべきである。例えば、連想記憶や、分析記憶、或いは、中間のまとめ記憶や、応用記憶、等々長期記憶の能力を改善してゆくべきである。

概念や名詞が多すぎると、学習効果や記憶効果が低くなる為、一科目の学習では、量を少なめに修学し、そして回数も増やすと記憶に対して有効である。；  
授業後の復習は、早ければ早いほど記憶に対して効果がある。；  
記憶性の高い科目を重点して修学する場合は、少し困難な点がある；  
お子様が記憶性の高い科目を学習する場合、習得に少し困難な点がある事を理解して下さい。従って初等学習は中～上級レベルの水準に設定するのが良い。  
生後、W3 脂類を多く含む食物を食べると、脳神経の記憶改善に良い。  
潜在能力素質育成カリキュラムに参加することを提案致します。子供の年齢や、性別、潜在能力の特徴に沿って、計画的に個人ごとの育成カリキュラムを策定し育成を行います。記憶力を高める方法と習慣を訓練する。そして、記憶能力を改善して行く。

#### 参考附録

##### 記憶の用途：

- 1) 記憶は人類知力の基本機能であり。人の記憶潜在力は遺伝子によって違う為に記憶力にも違いがある。
- 2) いかなる知能活動も記憶力を必要とする。学習する上では特に、英語や、国語や歴史、地理、科学、常識などが、記憶力に頼る科目としてあげられる。これらの科目は記憶力がとても重要である。；数学や、物理、化学なども記憶力は必要なのだが、理解力を用いることによって記憶力の不足を補える事ができる。
- 3) 記憶の機能は、幼少期から発育が始まり、中学生に至る以前に、記憶の基礎的な発育が定型化する。
- 4) 具体的な知識に関する記憶力は、その物事への興味の有無、理解の程度、集中力の程度、想像力の応用による。

##### 記憶に影響をあたえる要素：

- 1) 栄養補給と大脳発達状況が記憶力に影響する；
- 2) その物事への興味や精神の集中力も記憶力に影響する；
- 3) 新しい知識への理解力は記憶力に有利である。知識を吸収するには、読み書きと暗唱を繰り返すことによって記憶を深められる。

## 二、 注意力

### 1、 注意力に関する潜在力の遺伝子解析

遺伝子	被験者の 遺伝子タイプ	注意力の潜在力の成長 に関する遺伝子条件
DAT1	9R10R	良
5-HT2A	CC	弱
GRIN2B	CT	優

### 2、 説明：

遺伝子タイプが持つ意義：

DAT1：被験者は 9R10R タイプの遺伝子である、多量のドーパミントランスポーターを生産することは困難である為、興奮しないようにして、注意力を集中する方が良い。

5-HT2A：被験者は CC タイプの遺伝子である、この遺伝子配列は生成した神経伝達物質の受容体能力が弱い為に、注意力の継続を妨げる。

GRIN2B：被験者は CT 遺伝子タイプである、この遺伝子コードは生成した神経伝達物質通路の伝達能力が弱い、故に外部からの刺激にも、あまり影響を受けないので集中力は良好である。

### 3、 注意力の潜在力についての評価：

レベル：良

特徴：被験者は注意力に対する潜在力は良である、特徴は、外部の干渉に強い抵抗能力がある為、注意力を維持できる時間が長い、故に学習に対しては有利である。

### 4、 育成についてのアドバイス：

注意力に関する潜在能力は良好であるので、記憶や学習内容の理解に対して有利である。しかし、集中力が分散しないように注意すべきである。

自主性を十分に発揮させる方が良いので、学習時や遊んでいる時には、あまり干渉しないようにするべきである、但し補助が必要な時は、手を差し伸べるようにする。

外部からの過剰な誘惑や、干渉をできる限り避けて、学習時や遊ぶ時の環境に対しては、整理整頓しておくべきである。

子供が自宅において学習する時や遊ぶ時は、あまり干渉せずに自然に任せるべきである。但し、子供が集中できる持続時間や興味深さを観察し記録に残す。

子供が、興味を抱いた学習内容や遊ぶ内容はより多くのものを選択させる。

潜在能力素質育成プログラムに参加することを提案します。このプログラムでは、子供の年齢や、性別、潜在能力の特徴のよって、個々に対して計画的に育成をしていく。注意力を向上させる習慣を訓練する。注意力に関する潜在能力を優位に発揮させる。

#### 参考附録

注意力の用途：注意力は児童が学習する上で非常に重要な要素である。授業を聞く際や記憶して行く際など、また、思考する際にも重要な条件となる。従って注意力が強いと児童の各学習について有利な事は明白であり注意力が弱いと、児童の学習に対して不利である事は明白である。

注意力に影響を与える要素：注意力は脳の発育に影響を受ける。脳の発育が成熟すればする程、注意力に対して有利に働く。そして、栄養や習慣、更に興味の影響も受ける。

### 三、理解力

#### 1、理解力の潜在力についての遺伝子解析

遺伝子	被験者の 遺伝子タイプ	理解力の潜在力の 成長に関する遺伝子条件
CHRM2	TT	優

#### 2、説明：

CHRM2：被験者の遺伝子タイプはTTタイプである。受容体の活性は弱く、抑制因子として生物活性を減少させてしまう。大脳の思考回路に優位性がある。分析や抽象、推理についても優位性がある。知識を理解する上で潜在力は良好である。

#### 3、理解力の潜在力についての評価：

レベル：優

特徴：理解力に関する潜在能力は優である。特徴は理解速度が速く、分析・帰納・演習能力が強い。

#### 4、育成についてのアドバイス：

理解力に関する潜在力の遺伝子条件は優である。学習内容を理解する上では優位性がある。但し、中途半端な学習習慣は避けるべきである。

理解力に関する潜在能力が優位である為、この有利な条件を発揮して、学習内容に対しては深く理解するべきであり、全面的に理解する事が望ましい。

理解後の応用を注意しましょう。知識を把握するように。

#### 参考附録：

##### 理解力の用途：

理解力は児童が学習する際の重要な要素である。こどもの理解力のスピードが違う為、反応が早い児童や理解力の高い児童は迅速な授業に適合している。それに対し理解力の低い児童は遅いペースの授業に適している。

理解力に影響を与える要素：理解力は脳の発育に影響を受ける。理解する能力は、大脳が成長すればするほど高まる。また注意力の影響も受ける。判り易い授業や例を挙げて教授されたりする時には、教師の教え方にも影響を受ける。教えられた事柄に関して、好きな事は良く理解するが、嫌いな事には理解しづらい。背景知識にも影響を受ける。

重要注意：こちらの児童の理解力は、遺伝子的なレベルで見ると優である。理解力の発展を促進させるには、後天的な脳の発育過程が重要である。理解力を高めるには、後天的に良き習慣を養成し、思考力の訓練、知識の累積、興味の誘導が良い。

#### 四、 想像力 遺伝子解析

##### 1、 想像力の潜在力についての遺伝子解析

遺伝子	被験者の 遺伝子タイプ	想像力の潜在力の成長に 関する遺伝子条件
SNAP25	AG	良

##### 2、 説明：

遺伝子の意義：

SNAP25:被験者はAGタイプの遺伝子である。この遺伝子配列は機能蛋白質の活性化レベルが比較的高く、脳細胞の興奮レベルや思考の活発性が高い。また想像力の潜在能力も高い方である。

##### 3、 想像力に関する潜在能力の評価：

レベル：良

特徴：想像力の潜在能力は良である。想像力は豊富である。

##### 4、 育成についてのアドバイス：

##### 参考附録：

想像力の用途：想像力は児童の多種多様な学習科目において、すべて非常に重要である。特に国語・科学・自然・数学などの学習においても補助となる。想像力が強いと、児童の文学芸術やその他の芸術、更に立体幾何学や他の関連学科においても有利である。

想像力に影響を与える要素：想像力は脳の発達状態に影響を受ける。脳が発達すればするほど、想像力は豊かになる。その他、幼児期における思考の制限を受けると想像力の向上にマイナス要因となる。思考を制限する事は児童の想像力に不利である。；物事に対して興味を持つ事も想像力に良い影響を与える。発散思考訓練は想像力の成長に有利にはたらく。

重要注意：この児童の想像力の遺伝子条件は良である。栄養摂取や脳の発育、後天的な教養・教育方法などが、想像力の向上に重要な影響をもたらす要素である。

## 五、 思考力（分析、抽象、推理） 遺伝子解析

### 1．思考力の潜在力に関する遺伝子解析：

遺伝子	被験者の 遺伝子タイプ	思考力の潜在力の成長に 関する遺伝子条件
CHRM2	TT	優
COMT	GG	中

### 2．説明：

CHRM2:被験者の遺伝子は TT タイプである。受容体の活性力は弱である。またこの遺伝子は抑制因子であり、生物の活性を弱らせることで大脳の思考回路の働きを有利にする事ができる。更に分析力や抽象的判断、並びに推理する能力などにも優位性がある。

COMT:被験者の遺伝子タイプは GG タイプである、作り出された、タンパク因子は活性力が弱い。反応や思考速度は一般的である。

### 3．思考力に関する潜在能力の評価：

レベル：良

特徴：思考力に関する潜在能力は良好である。正しい育成の下では優れた思考能力を培う事ができると思われる。

### 4．育成についてのアドバイス：

#### 参考附録：

思考能力の用途：思考能力は児童が学習する上で非常に重要な能力である。例えば数学や国語など、多種多様な学科に対して必要不可欠なものである。また、思考能力が強いと児童の各種学習項目に対して、明らかに優位性がある。特に数学については重要である。

思考能力に影響を与える要素：思考能力は脳の発育の影響を受ける。思考能力は、脳の発育が成熟する程、優位性が増す。思考能力は考え方の習慣に影響を受ける。思考能力は物事に対する関心の強さにも影響を受ける。成功動機の影響を受ける。自信の影響を受ける。



重要注意：この児童の思考能力については遺伝子レベルにおいて良好である。良好な栄養摂取と良き脳の発育過程が思考能力の向上に対して優位に働く。良い家庭教育や、教育方法もとても重要である。過保護な教育教養や制限的な教育教養などは、児童の思考能力の発達に悪影響を及ぼすので良くないことである。

## 六、思考力の機敏性

### 1、思考力の機敏性（頭の回転の速さ）に関する潜在力の遺伝子解析

遺伝子	被験者の 遺伝子タイプ	思考力の機敏性に関する 潜在力の遺伝子条件
SNAP25	AG	良

#### 2、説明：

SNAP25: 被験者の遺伝子は AG タイプである。この遺伝子配列は機能たんぱく質の活性力が比較的に高い方である。脳細胞の興奮レベルと思考力の活発性が良好である。思考力の機敏性（頭の回転の速さ）についても良好である。

#### 3、思考力の機敏性に関する潜在力の評価：

レベル：良

特徴：思考力の機敏性に関する潜在能力は良好である。特徴として、知識や情報に対する反応が比較的に早い。授業は早いスピードで教えても適応できる。

#### 4、育成についてのアドバイス：

#### 参考附録

思考力の機敏性に関する用途：児童が授業を修学する上でそれぞれ違う速度で学習することが望ましい。思考力の機敏な児童には、学習速度を早めた授業でも適応可能であり一方、頭の回転が遅い児童には、ゆっくりとした学習速度が望ましい。

影響を与える要素：思考力の機敏性は脳の発育成長の影響を受ける。思考力の機敏性は、脳が発達すればするほど優位性が増す。大脳の栄養摂取や血液供給の影響を受ける。興味の影響を受ける。基礎学習力の要素などからも影響を受ける。

重要注意：被験者は脳の回転の速さの面で遺伝子条件は良好であり、良好な脳の発育は脳の回転スピードを向上できる。脳の訓練や良い習慣を身につけることも、脳の回転スピードの成長に役立つ。

## 育成企画

### 一、 知能指数に関する潜在力の各要素一覧表

	記憶	注意	理解	思考	想像	思考の 機敏性
優			*			
良		*		*	*	*
中	*					
弱						

### 二、 育成企画プログラム

三、 潜在能力素質育成プログラムに参加することを提案します。このプログラムでは、子供の年齢や、性別、潜在能力の特徴によって、個々に対して計画的に育成をしていく。